



学校だより

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

令和 7 年 4 月 3 0 日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

「学校大好き・友達大好き・先生大好き」な毎日をめざして

副校長 中村 将行

さわやかな風が新緑を揺らし、自然の恵みを感じられる季節となりました。子供たちは春の日差しの中、笑顔いっぱいに校庭を駆け回り、教室では新しい友達や先生とのかわりの中で、いきいきとした表情を見せています。新年度のスタートから1か月、少しずつ新しい環境にも慣れ、落ち着いて学習や生活に取り組む姿が多く見られるようになってきました。

先日、校外学習の引率をしていた時のことです。帰り際に疲れも出てきて、気持ちが落ち着かなくなり、自身の学級の列に入れなくなってしまった子がいました。教員が学級の列に戻るよう促しますがなかなか戻れません。私もどうしようかと少し様子を見ていました。すると、少し離れたところにいる友達を心配したクラスメイトが「〇〇さんこっちにおいでよ」と声をかけました。その声を聞いて安心したのか学級の列に戻ることができました。子供たちにとって、友達との関わりがとても大きなものだ実感した出来事でした。



本校では、今年度の教育活動推進スローガンとして「学校大好き・友達大好き・先生大好き」を掲げています。これは、学校が安心できる場所であり、友達や先生と信頼関係を築きながら、心を通わせて成長して欲しいという願いを込めたものです。子供たちが「学校に行きたい」「みんなに会いたい」と思えるような温かい雰囲気、学校全体で大切にしていきたいと考えています。

このスローガンの実現に向けて、今、私たちが特に力を入れているのが学級での話し合い活動です。話し合いを通して子供たちは、どうすればより良い学級や学校生活になるかを自ら考え、友達と意見を交わしながら答えを見つけていく経験を重ねています。どの学級でもこの話し合い活動ができるように、校内で研修を実施しています。

こうした話し合いの場では、子供たちの中にある思いや願いが言葉となって表れます。そして、互いに違う意見を受け入れ、共通の目標に向かって調整しながら進んでいく力が育まれていきます。「友達大好き」「先生大好き」と実感できる場面を、日常の中に少しずつ広げていきたいと考えています。

5月は、学校生活にも慣れ始める一方で、疲れが出やすく、気持ちが不安定になりやすい時期でもあります。一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、どの子も安心して自分らしく過ごせるよう、引き続き丁寧なかかわりを大切にしていきたいと思います。

保護者の皆様におかれましては、日々のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。今後とも、子供たちが「学校大好き」と感じられる毎日を、共に支えていければ幸いです。